

## 北朝鮮の脅威から見える朝鮮半島の危機

2018年11月12日

軍事・情報戦略研究所長 西村金一

金正恩委員長の「叔父の張成沢を高射砲で殺害し、実兄の金正男を化学兵器V X剤で公衆の面前で無残に殺害した指導者」という印象を、韓国の文在寅大統領が「平和を求めている、ものわりのいい、人間性溢れる戦略家の指導者」に作り変えた。

韓国の世論調査が、作りかえられたイメージを如実に表現している。

韓国の世論調査会社は、南北首脳会談を受けた認識の変化を調査した結果、非核化や平和に対する北朝鮮の意思を「以前は信頼していなかったが、今は信頼する」との回答が 52.1% だったと発表した。「以前も今も信頼する」との回答は 12.6% で、信頼する人が合わせて 64.7% に達した。

文在寅政権の動きと韓国国民の反応を見ていると、不気味で恐ろしさを感じる。

6月12日に米朝首脳会談が行われてから、約5ヵ月半が過ぎた。「朝鮮半島の非核化が大きく進展しているのか」、「北朝鮮が核を本格的に廃棄している動きをしているのか」というと、そうではない。最近では、「終戦宣言が先」、「北朝鮮の非核化が先」かが問題になっているが、ポイントは、北朝鮮が非核化を実現する意図があるかどうかだ。

これからの朝鮮半島の動きを読むには、北朝鮮による「朝鮮半島の非核化」と「南北統一」の2面を見なければならぬ。そして、まず、ポンコツ兵器と特殊部隊からなる「北朝鮮軍事力の実態」と北朝鮮が行ってきたこれまでの「ならず者国家」を理解して、核・ミサイル開発するために騙してきた戦略を解明し、その延長線上に、朝鮮半島の非核化と北朝鮮による南北朝鮮統一戦略を分析して、今後の危機を予測する。

話の順序は以下の通り。

### 1. 北朝鮮軍の実態

#### (1) 北の軍と通常兵器の能力

軍事力はポンコツな旧式兵器

北の旧式兵器と米韓の近代兵器での戦い

ソウルに砲撃すると、どうなるのか

軍の勝ち目は、特殊部隊だ

よって、ポンコツ兵器の軍は、核ミサイルに依存

#### (2) 弾道ミサイルの能力

対艦弾道ミサイルと対艦ミサイルの違い

潜水艦発射弾道ミサイルの能力

(核ミサイルの詳細は省略)

## 2. ならず者国家の実態

### 3. 北朝鮮は過去、何度も裏切ってきた

### 4. 北朝鮮による「朝鮮半島の非核化」の動き

#### (1) 金正恩は核を離さない

- ・北の最近の非核化の動き（本気ではない）

核実験場の爆破は

西海発射場の解体は

西海エンジンテスト場の解体は

- ・北は核ミサイル開発を継続している

ウラン濃縮施設の存在と活動継続中

弾道ミサイル製造が継続中

#### (2) 米朝交渉（非核化）の行方

- ・最近出された金正恩の命令指示

- ・交渉が時間稼ぎに使用されると最悪に。北の核は 50～100 個に

### 5. 北朝鮮による南北朝線統一戦略

- ・騙される韓国
- ・板門店宣言には、隠された罠がある
- ・北が南を呑みこむ統一の根拠
- ・板門店平壤宣言軍事面の合意事項の罠
- ・韓国をじわじわと浸食
- ・北による韓国占領の軍事戦略は大きく変わった

### 6. まとめ

#### 今後の危機を予想する

・近いうちに、米国は北朝鮮に、「非核化を本気で実行するのか」、北朝鮮は米国に、「北朝鮮の体制保証を確実に行うのか」といったやりとりが、トップ会談で行われる可能性がある。

・交渉の成果もなく、「現実的に非核化が進んでいない、時間稼ぎをされているだけ」、「北朝鮮が、核やミサイル開発を継続させている」といったことになれば、トランプはどうするのか。

・トランプは、中間選挙までは、「金正恩とは良好な関係だ、よくやっている」と自分の成果を吹聴した。だが、今後、「北朝鮮の核ミサイルを廃棄させられなかった」「3回目も騙された大統領だ」と、評価されることになる。その時トランプは、何もしないでいられるだろうか。